

地域の未来を担う若者の為に私たちができること

誰もが自分らしく生きられる社会を目指して

特定非営利活動法人 BeWith

Activity base

活動拠点

北九州市小倉北区金田 2 - 1 - 3 2 アヴィニール金田Ⅱ

特定非営利活動法人 BeWith
Learning Space CANDLE



学童クラブ みらいく



Our Mission in Action

BeWithの2つの「居場所」



Learning Space CANDLE

学生無料の学習・交流スペース

ここは、ただの自習室ではありません。
安心して過ごし、時には悩みを相談できる、
心に火を灯すような温かい場所です。



縁日食堂

世代を繋ぐコミュニティ食堂

学生、若者、地域の大人が食卓を囲む交流の場。
若者の孤食を防ぎ、多様な価値観に触れ、
社会との繋がりを育みます。

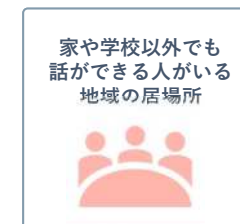
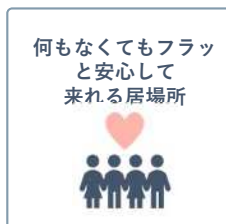
Our Mission in Action

活動紹介

食と居場所と出会いで人々のココロに彩を

Learning Space CANDLE 学生が無料で集える「第三の居場所」

自由に勉強や交流ができる安全なスペース
キャリアコンサルタントによる進路相談、悩み相談
孤立しがちな若者が、社会と繋がるきっかけづくり



学生の利用無料（中学生以上）
大人の利用料や寄付で地域の
優しさがゆるくつながる居場所



キャリアコンサルタントによる進路相談
（自分の持ち味を知るワーク）



子ども食堂
（大学生や他の団体と協働）

Our Mission in Action

活動紹介

食と居場所と出会いで人々のココロに彩を

「縁日食堂」世代を超えた温かい交流の場

学生・若者・大人と一緒に食卓を囲み、語り合う場
地域の人々が顔見知りになり、互いに見守る関係を築く
若者の孤立を防ぎ、安心できるコミュニティを形成する

若者が自分らしく
生きるために
大人は土壌づくりを



食事を囲んでテーマ無く話をする



大学生や大人が作る料理が
話のきっかけに



逆転！ 行列のできる相談所
不定期開催

大学生に大人が真剣相談！

Inspired by a Personal Story

活動のきっかけ

息子の進学

息子が直面した壁を見て
若者支援の必要性を感じる



親子だと喧嘩になる



学校も頼れない



行政の相談窓口に行き
行くこともない

知人の息子さんの自死

悲しい出来事を経験し
若者の「声なきSOS」に気づく

孤独



助けてと言えない

心配かけたくなくて
親にも連絡できない

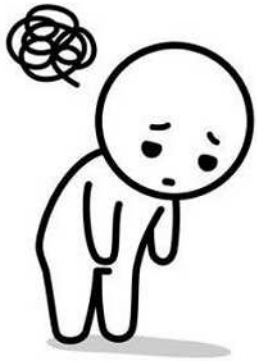
見えにくい悩み

「普通」に生きているように
見えても、実は様々な悩みを抱えている
誰もが抱えうる心の葛藤を
支える居場所が必要

Inspired by a Personal Story

活動のきっかけ

「普通に生きている」——つまり、目立った困難や制度上の“支援対象”に該当しない人たちが、
実は静かに苦しんでいることは少なくありません。
生活はできているけれど、孤独や不安、自己肯定感の低下、将来への漠然とした恐れなど、
声にならない“支援未満の悩み”がそこにあります。



そして、そのような人ほど
「自分なんかが助けてほしいなんて言っているのか」
と遠慮してしまう。相談先も分からない。
支援の枠組みが“困っている人”を明確に定義してしまうことで、
逆に声をあげにくくなる構造が生まれているのではないのでしょうか。



Inspired by a Personal Story

活動のきっかけ

悩みを抱える若者の実態

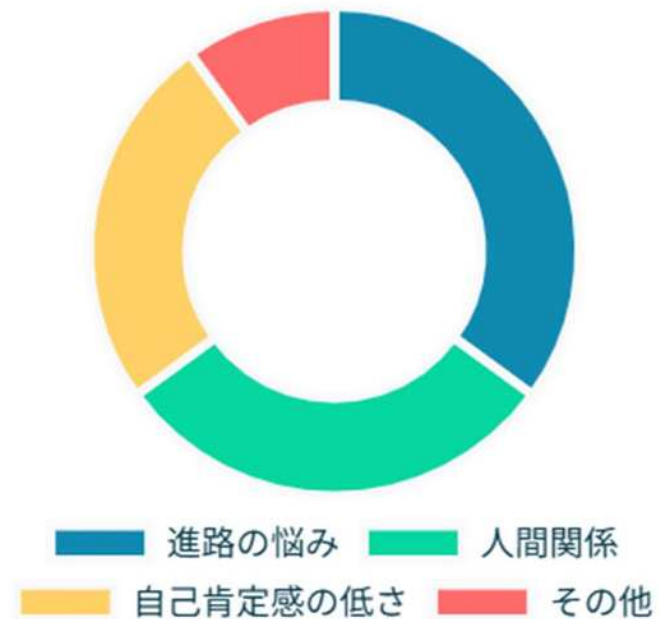
学校や家庭に続く「第三の居場所」がないことで、
孤立感を深める若者が増えています。

BeWithは、彼らが安心して立ち寄れる場所を提供します。

1 in 3

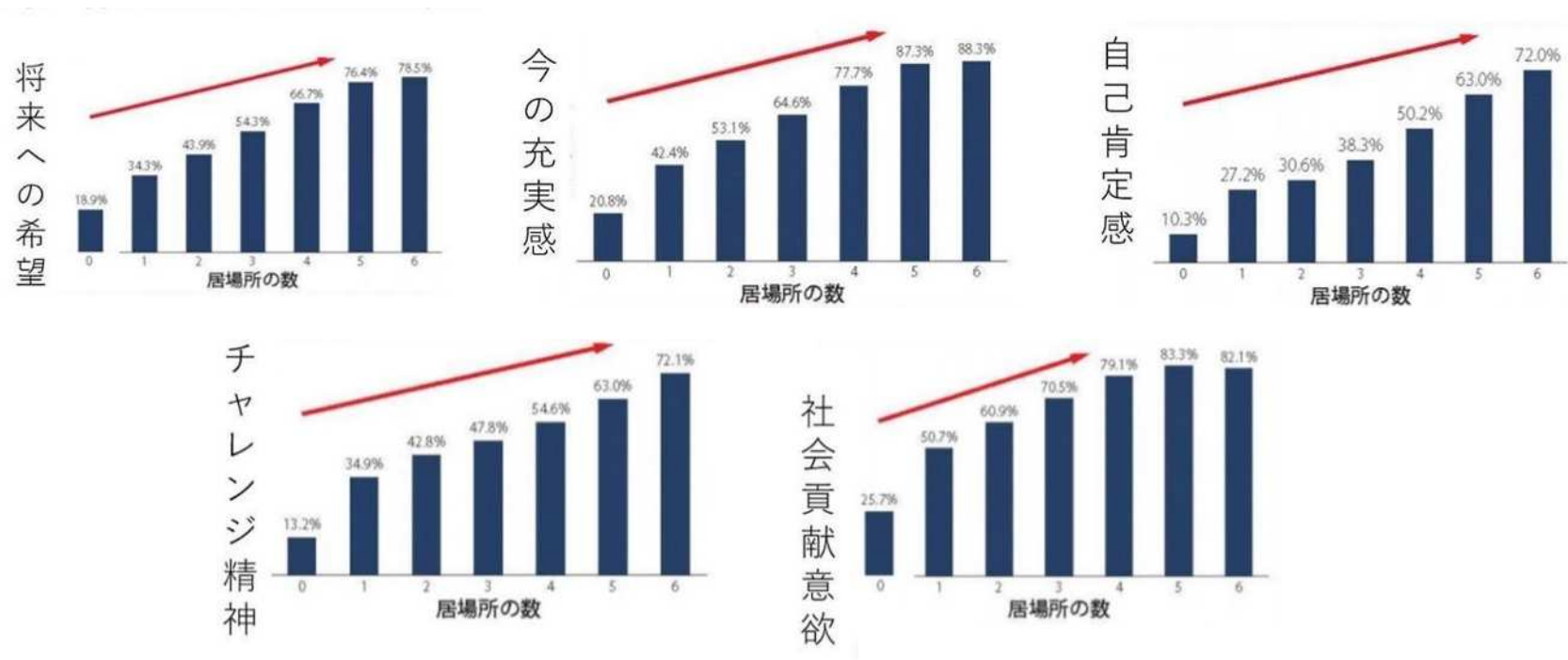
日本の若者の3人に1人が
強い孤独感を感じています
(内閣官房 孤独・孤立対策担当室調査参考)

若者が抱える悩みの内訳（イメージ）



Creating a safe space

子ども・若者の居場所と自己認識の関係



(出展) 子供・若者の意識に関する調査 (令和元年度 内閣府)

Creating a safe space

安心できる場を作りたい

義務教育終了後も

気軽に安心して
来れる居場所を
作っておきたい



学校や家以外の居場所

周りからみたら
“ちゃんとできている”
そんな子ほど
一人で抱えて行き場がない



地域との関り

若者が自分らしく
生きるために
大人は土壌づくりを



どんな人にでも居場所が必要！

Real Story

実際にあったこと

普通高校に通う 3年生の女の子
高校1年生のころから来ている



いつも朗らか

部活も勉強も
頑張ってる！

友達とも
仲良し

国立大学の入試を
控えた2月末
大泣き！

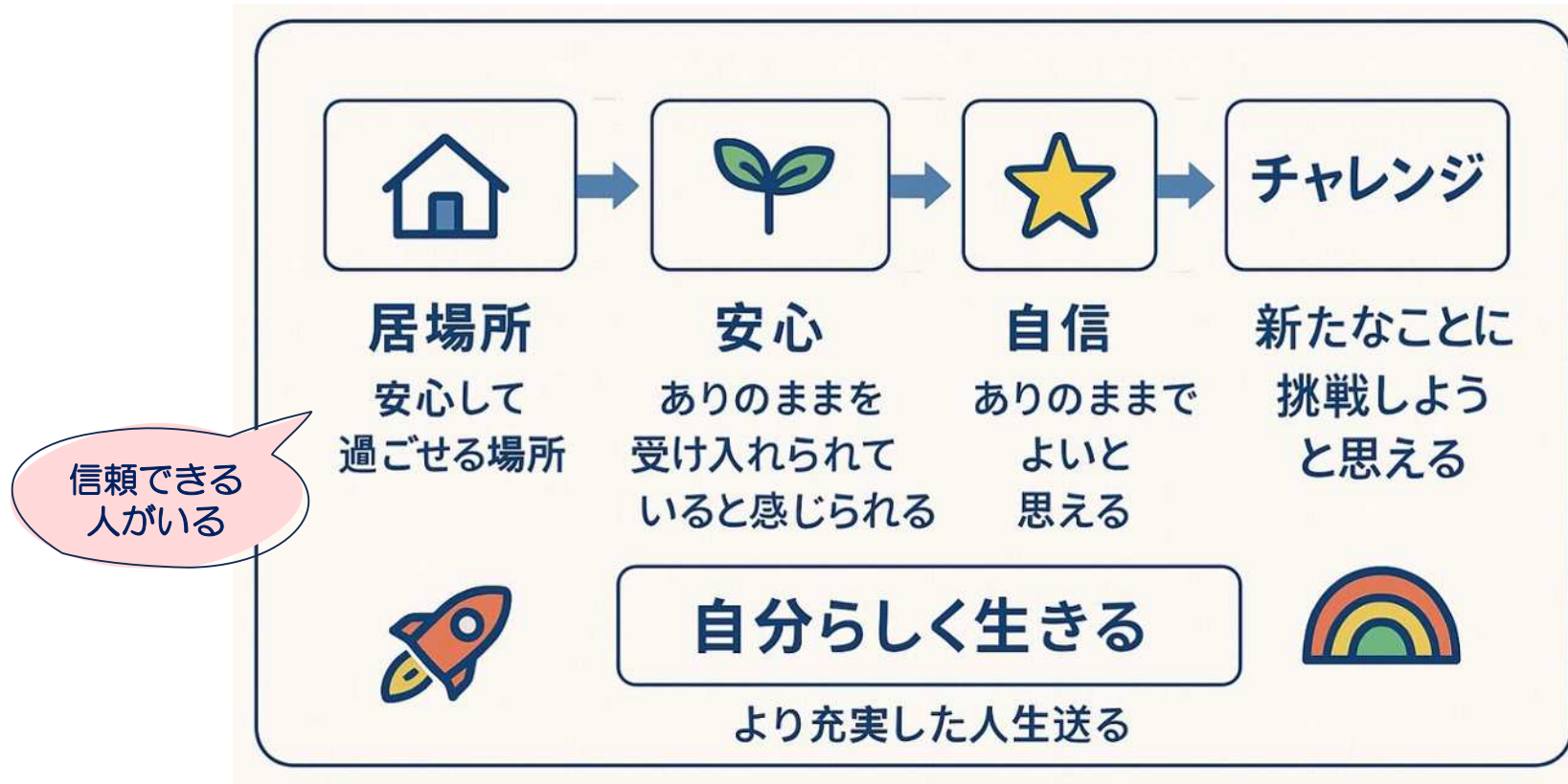
受験するのは
親の地元であり
そこに受かる事を
期待されている

友達もみんな
成績が伸びていて
おいて行かれている

先生に
「お前なら大丈夫」
と言われる



Our Mission in Action



この場に集う人々が、**対話**の中からゆるやかなつながりを実感し、
成長し続けられるような、優しい社会をつくっていきたい

Our Mission in Action

居場所の力で、若者が安心できる場を作る

若者支援は特別なことではありません。BeWithは「場」を提供し、地域の皆さんの「温かい眼差し」が加わることで、若者を支える大きな輪が生まれます。



Epilogue

A faint, stylized illustration in the background shows two hands, one on the left and one on the right, reaching upwards to hold a large, light pink heart. The hands are a light orange color with simple outlines. The heart is a soft pink with a subtle gradient.

ご清聴頂きありがとうございました

特定非営利活動法人 BeWith